



妹が僕に映画をつくらせた



妹と母を1年間撮り続けた、家族の物語

ちづる子

自主上映会のご案内

<http://chizuru-movie.com/>

監督・編集：赤崎正和／製作：池谷 薫（2011年/79分/字幕あり）



10月20日（土）

上映時間：①10:30～11:50 ②13:30～14:50

会場：大妻女子大学 多摩キャンパス 6号館 1階 6113教室

〒206-8540 多摩市唐木田2-7-1 小田急多摩線「唐木田駅」徒歩5分

定員300名【入場無料】申込不要 *当日会場へお越しください

問合せ：多摩市社会福祉協議会 地域活動支援センターあんど

☎ 042-356-0307

**妹のことをどう説明したらいいかわからない。
だから言葉で伝えるかわりにカメラを向けることにした。**

立教大学現代心理学部映像身体学科の赤崎正和が監督したドキュメンタリー「ちづる」。自身の卒業制作として企画されたこの映画は、重度の知的障害と自閉症をもった赤崎の妹・千鶴とその母を1年に渡り撮り続けた、みずみずしくも優しい家族の物語である。

最も身近な存在でありながら正面から向き合えなかった妹にカメラで対話した監督は、映画を撮り終える頃、家族との新しい関係を築きあげている自分に気づく。

作者の精神的な成長がいみじくも映像に刻印されてしまった稀有なドキュメンタリーの誕生。“若さ”が成し遂げた映画の奇跡がここにある。

「ちづる」グッズができました！

映画のエンディングやパンフレットに掲載されている千鶴さんのイラストが素敵なバックや手ぬぐいになりました。大妻多摩祭会場でも数量限定で販売します。

商品の詳細はFacebookの映画「ちづる」公式ページで詳しく紹介しています。



自閉症について

先天的な脳機能の障害のために、発達期にさまざまな行動特性が明らかになる。人によって障害の現れ方は異なるが、他者とうまくコミュニケーションがとれない、視線を合わせにくい、周りの雰囲気を感じ取れない、同じ行動や動作を繰り返す、特定の物や場所に強いこだわりがある、といった特徴があげられる。

最近ではアスペルガー症候群も含めて自閉症スペクトラム障害という場合が多く、100人に1人程度いると見られている。

